

北澤美術館特別展

パート・ド・ヴェール

— 秘められたるガラス技法 —

2015年

12月2日(水)

2016年

10月2日(日)

Pâte de Verre



会場／北澤美術館 開館時間／9:00~17:00(10月~3月)、9:00~18:00(4月~9月)

休館日／会期中無休 入館料／大人1,000円 中学生 500円 小学生以下無料

※閉館時間の30分前までにご入館ください。 ※団体(8名様以上)料金は、上記入館料より100円引

●主催／公益財団法人北澤美術館 ●特別共催／信濃毎日新聞社 ●共催／長野日报社

●後援／在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、日本ガラス工芸学会、諏訪地方市町村教育委員会協議会、
一般社団法人諏訪観光協会、諏訪湖温泉旅館協同組合、NHK長野放送局、
市民新聞グループ(7紙)、LCV

●協賛／株式会社 **キッツ** 株式会社キッツは、社会貢献活動の一環として公益財団法人北澤美術館を支援しています。

アルベール＝ルイ・ダムーズ《花文花瓶》1898-1900年 h.12.2cm



北澤美術館

KITAZAWA MUSEUM OF ART

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り1-13-28

TEL.0266(58)6000 <http://kitazawamuseum.kitz.co.jp/>
1-13-28 Kogandori, Suwa-shi, Nagano-ken, 392-0027, Japan



ジョルジュ・デブレ/原形デザイン:アレクサンドル・シャルパンティエ 《ラ・ヴァーグ(波)》
1902年頃 h.112.0cm

「パート・ド・ヴェール」は、色ガラスの粉を型に詰めて焼き上げる特殊なガラス技法です。古代エジプトで栄え、その後ながらく途絶えていましたが、1885年頃にフランスの彫刻家アンリ・クロスが再現に成功し、世紀末アール・ヌーヴォー期から1920年代のアール・デコ期にかけて流行しました。パート・ド・ヴェールは、通常のガラスづくりにはない微妙な窯の温度調整や、鑄型の中で融けてゆくガラス粉を相手に思い通りの文様を仕上げる難しさなど、気の遠くなるような根気と、高度な技を要する製法でした。作家たちは互いに秘術を明かすことなく競い合っていたために、作品は残されていても製法は謎に包まれています。

北澤美術館では、ダムーズ、ワルター、アルジィールソー、デコルシュモン、デブレら代表作家の作品を集めた世界でも珍しいコレクションを所蔵しています。この度、開館30周年の最後を飾る特別企画として、およそ60点を一堂に公開いたします。光を透す鮮やかな色合い、卵の殻のように薄くデリケートな作品、あるいは陶磁器のように滋味あふれる肌合いなど、奥深い世界をお楽しみください。



アマリック・ワルター
《カミキリムシ文蓋物》
1920-1935年 直径17.4cm



フランソワ・デコルシュモン
《海藻文透彫花瓶》
1904年(年記) h.24.3cm



ガブリエル・アルジィールソー
ランプ《樹木》
1926年 h.35.0cm



ガブリエル・アルジィールソー
花瓶《雪中のオオカミ》
1926年 h.24.0cm



アルベール＝ルイ・ダムーズ
《薔薇形杯》
1910年頃 直径10.7cm



ガレ・ドーム・ラリックの展示もあわせてお楽しみください。



■ ギャラリートーク 毎月第4土曜日

14:00より約30分間

※詳しくは、ホームページまたは電話でお問い合わせください。

■ 交通案内

JR中央線 諏訪駅下車 徒歩15分 タクシー5分

中央自動車道 諏訪ICから約15分

東京方面から → 中央自動車道 諏訪ICまで2時間15分

名古屋方面から → 中央自動車道 諏訪ICまで2時間30分

大阪方面から → 名神高速+中央自動車道 諏訪ICまで4時間30分

■ 駐車場

バス10台・乗用車50台



北澤美術館

KITAZAWA MUSEUM OF ART

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り1-13-28

TEL.0266(58)6000

<http://kitazawamuseum.kitz.co.jp/>

Kitazawa Museum of Art 1-13-28 Kogandori, Suwa-shi, Nagano-ken, 392-0027, Japan